

2016年9月16日

各 位

国立研究開発法人国立がん研究センター
小野薬品工業株式会社

国立がん研究センターと小野薬品工業、包括的研究提携契約を締結

国立研究開発法人国立がん研究センター（理事長：中釜 斉、東京都中央区、以下「国立がん研究センター」）と小野薬品工業株式会社（代表取締役社長：相良 暁、大阪市中央区、以下「小野薬品」）は、双方が有する研究能力を生かし、優れた抗がん剤創出およびがん免疫療法などにおけるバイオマーカー探索を目指した共同研究を推進するための包括的研究提携契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約は、国立がん研究センターの有する高度ながん研究技術および臨床経験と、小野薬品の有する高い研究能力と創薬技術を融合することによって、がん患者さんとそのご家族の方々に一日も早く革新的な医薬品と適切な治療方法を届けることにより、社会に貢献することを目的としています。

包括的な提携関係を構築することによって、今後の個別研究を迅速に進めることが可能となります。国立がん研究センターは、保有する研究成果のうち小野薬品の研究開発に合致するものを小野薬品に提示し、両者協議のもと、(1) 創薬標的探索研究、(2) 初期創薬研究、および(3) トランスレーショナル研究を共同で進めます。創薬標的探索研究では創薬標的の探索、同定を行い、初期創薬研究では創薬標的の評価およびスクリーニングにより創薬候補となる活性物質（低分子化合物または抗体）の取得を目指します。トランスレーショナル研究では小野薬品が有するがん免疫療法薬などにおけるバイオマーカー探索、がん治療薬または診断薬の開発につながる研究を行います。

また、国立がん研究センターと小野薬品は、がん患者における全身および腫瘍局所の免疫状態の解析に加え、がん種横断的に腫瘍の遺伝子変異・発現や、腫瘍および免疫細胞の代謝状態などについても網羅的に解析する大規模な共同研究を開始しました。本共同研究では、がん免疫療法の治療効果または副作用の予測等に関連するバイオマーカーを発見することにより治療成績の向上や適性使用の推進につながる情報の取得を目指すと共に、がんの免疫応答や免疫療法の耐性に関わる因子を同定することで革新的な新規がん免疫療法の開発を目指します。

国立がん研究センターと小野薬品はこれまでも臨床試験や共同研究などで協力してきました。今回の提携契約により、さらに緊密な関係が構築され、共同研究がより一層推進されていくことが期待されます。

国立がん研究センターについて

国立がん研究センターは1962年に開設され、日本におけるがん治療および研究をリードする医療機関です。医師主導治験や臨床研究にも積極的に取り組み、創薬に繋がる豊富な研究成果を有しています。

小野薬品工業株式会社について

小野薬品工業株式会社は、日本の大阪市に本社を置き、特定領域における革新的な医薬品の創製に取り組む研究開発型の製薬企業で、糖尿病領域とがん領域を重点領域として活動しています。詳細については、www.ono.co.jpにてご覧ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室

TEL : 03-3542-2511 (代表)

E-mail : ncc-admin@ncc.go.jp

小野薬品工業株式会社 広報部

TEL : 06-6263-5670

FAX : 06-6263-2950